

K004

- T: 初めまして。
- I: あっ、初めまして。
- T: えー、お名前は？
- I: あっ【I (姓・名)】と申します。
- T: 【I (姓・名)】さんですね。
私【T】と申します。
- I: よろしくお願ひします。
- T: あっ、よろしくお願ひします。
えー、【I (姓・名)】さん、お国はどちらですか？
- I: あっ、中国、えー【地名1】出身ですけども。
- T: 【地名1】ですか〈はい〉。
【地名1】のどちらですか？
- I: 【地名1】【地名2】ですね、あの一、台湾に一番近い〈ほお一〉都市。
- T: はあ一、そうなんですね。
- I: まあ一、【地名1】の省都、になるんですけど。
- T: あっ、省都になるんですね〈はい〉。
なるほど。
えー、【I】さん、日本にいらしゃってどのくらいになるんですか？
- I: そーすね一。
今年10年目で〈うん〉一、まる9年、経っていますね〈ほお一〉、はい。
- T: っということはいつですかね？
- I: 90、9年の4月ですね。
- T: ほ一、99年4月ですか一。
ほ一、もうずいぶんな長くて。
- I: いや一、もう、そろそろ帰らしてもらおうかと {笑}。
- T: なづほどね、はい。
あの一【I (姓・名)】さんは何か好きなこととか、何がありますか？
- I: うーん、基本的に〈うん〉、まあ、映画って言うか〈うん〉、大体DVDを見る、のが好きで〈ふーん〉。
で、もちろん旅行が〈ふん〉大好きなんですけど〈ふんふんふん〉、で、旅行といえば〈うん〉つい先週末、
〈ふんふん〉沖縄行ってきたんですけど、はい。
- T: あ一、そうですか、へ一。
沖縄でも、あの一もう【地名2】とそんなかわらないんじゃないですか？
- I: いやもうびっくりしたのが〈ふん〉、沖縄ついて一〈ふん〉、まあ、その旅行の案内とか〈ふん〉見たんですけど〈ふん〉、【地名2】園って書いてあるんですね〈ふーん〉、この庭園〈ほお一〉。
で、【地名2】の名前がついてて〈うん〉、いや、これは是非み、見に行かないと〈うん〉、で一、奥さんを連れていったんですね〈ふん〉。
で、そこもっとさらにびっくりしたのが〈うん〉、入ってきたときに聞かれるんですね〈ふーん〉、どこからいらっしゃたんすかと〈ふんふん〉、あの一〈ふん〉、警備員の方が〈ふんふん〉。
いや、【地名2】からですよ〈ふん〉って言ったら、もう色んな【地名2】の庭園とか聞かれたんですね、
〈ふーん〉その方に。
もうこんなにつながりが〈ふん〉あるのか、深いつていうか〈ふーん〉、まあ、ほんとびっくりしたんですね。
- T: なるほどね。
まあ、その一、どのくらいいらっしゃったんですか、沖縄に？
- I: いや、3泊四日ですね。
- T: あっ、3泊四日、ご覧になって。
その、えー、まあ、【地名2】と、その、沖縄那覇ですかね？
- I: はい、そうです。
- T: ね、そこ、何か似ているとこと違うとことありましたか？
- I: あっ、やっぱすね一〈うん〉、一番似ているのが、やっぱり、料理なんすね〈ふーん〉。

K004

食べ物なんすね。

こう、沖縄の、沖縄そばとか〈うん〉、あとね、ゴーヤーチャンプルーとか炒め物〈ふんふん〉とか、ソーメンチャンプルーとか〈ふんふんふん〉、そういうのが本当に〈ふん〉うちの地元の〈ふん〉【地名2】料理に似てますね。

T: あー、そうですかー。

I: あっちもほんとこれが懐かしいなっていうようぐらいの〈ふーん〉、似てますね。

T: はー、そうなんですかー〈はい〉。

もっと詳しく教えてくださいか、その料理の似ているというところというのを？。

I: で〈ふん〉、そのあちつけ[味付け]〈ふん〉が、もともとそのー、おき、沖縄って〈ふん〉日本ではなくて〈ふん〉、琉球王国〈ふんふん、ええ〉って国だったん〈ふん〉でー、むか、昔〈ふん〉、大昔〈ふん〉、中国から〈ふん〉あさぼうしとか〈ふん〉そういう、使節とか…

T: なっ、何しですか？

もう一回…、

I: えー、冊封使[さっぽうし]で…

T: 冊封使というんですか。

I: あのー、中国皇帝が〈ふん〉、あの、要は琉球〈ふんふん〉という国を認めると〈ふーん〉。

で、その使節を〈ふーん〉はっけん[派遣]して〈ふんふん〉、その琉球王国に来て〈ふーん〉、でー、それが、まあ、認めるよと〈ふんふんふん〉、というのが冊封使ですね。

T: あー、そうなんですか、ふーん。

I: でー、そういうかたかた[方々]が〈ふん〉来たときに〈ふん〉、まあ、入居国として〈ふん〉接待する〈ふん〉っていうのが、今まででんどうてき[伝統的]〈ふーん〉に、な行事が、いまだ、いまだに残っているんですけど。

T: あー、そうなんですか。

I: でー、その、まあ、食べ物とか〈ふん〉、文化とか〈ふん〉、当然そういうところ〈ふん〉、例えば、まあ、【地名2】園の庭園〈ふんふん〉、庭造りというか〈ふんふんふん〉、にしてもですね、やっぱ、【地名2】、まっ、中国の文化を、【地名2】経由で〈はあー〉、まあ、伝えられて〈ふーん〉来たというか。

あれがこの、やっぱ、沖縄の人からしても〈ふん〉、【地名2】っていう〈うん〉凄いなじみのある〈ふんふんふん〉言葉っていうか…

T: ふーん、あっ、そうですかー。

I: でー、料理もそこから〈ふん〉、まあ、ある程度〈ふんふんふんふん〉伝えてきて、でー、そのあちつけ[味付け]とか〈ふん〉、使っている〈ふん〉具材とか〈ふんふんふん〉がー、まあー、うちの地元で〈ふんふん〉、同じような形で〈ふん〉なってるんですね〈ふーん〉。

まあ、多少ね、あの日本人の好みに合わせて〈ふん〉、やっぱ、あま、甘い、甘いつてか甘くする〈ふーん〉って言うのがあるんですけど〈ふんふんふん〉、はい。

T: なるほどね。

ま、確かに、そのー、そういった形で、あのー、料理とか〈はい〉、あのー、そういった交流がね〈はい〉、あったということですね、似てると思うんですけど、〈はい〉その、若者を見て、その【地名2】の若者と沖縄の若者、あるいは日本〈あー〉の若者でもいいんですけど、どうでしょう？。

I: 今、まあ〈うん〉、そうっすね〈うん〉、中国って、こう、昔は〈うん〉、まあ、強い国でした〈うん〉けども、そのやっぱきんたい[近代]〈うん〉、きんたいし[近代史]を見ると〈うん〉、まあ、相当〈うん〉、まあ、あのー、弱いつていうか〈うん〉、色んなこと、あ〈うん〉りましてー。

まあ、日本は、その、50年代から〈ええ〉、まあ、朝鮮戦争で〈ええ〉、いわゆるとくじゅう[特需]景気〈はい〉で、まあ、ものすごく、こう〈ふんふん〉、経済的に伸びてきて〈ふんふんふん〉。

でー、まあ、今の中国と〈ふん〉比べ物にはならない〈うん〉ぐらいの〈うん〉、もう凄いですね〈うん〉今は。

でー、まあ、逆に〈うん〉、今が凄すぎてー〈うんうん〉、今の日本の若者が〈うんうん〉、逆に、あんまり働かないというか〈うんうんうんうん〉、もう豊か〈うん〉、豊か過ぎて〈うん〉。

でー、まあ親に〈うん〉、そのー、甘やかされてる部分も〈うん〉当然あるし〈うんうんうんうん〉。

でー、まあ、それと比べると〈うん〉、中国っていうのは今〈うん〉、発展途上国〈うん〉っていう、確かに国がでかいん〈うん〉ですけど、まあ名目GDP〈ふん〉、まあ、そうこう[総合]で〈うん〉見ると〈うん〉

K004

世界4位なんですけど〈うんうん〉、ただ一人当たり〈うん〉にすると、日本の10分の1なんで〈あー、ふんふん〉。

でー、そういった意味で〈うん〉、ちゅ、今の中国の若者〈うん〉がほんとに、まあ生き生きしてっ〈うん〉ていうか、ものすごく〈うん〉一生懸命やると〈うんうん〉。

でー、まあ、当然、ちようぜん[当然]自分の、生活を〈うん〉豊かにするとか〈ふんふん〉、国を豊かにするとか〈うん〉、そういう色んな夢とか〈うん〉、目標を持って〈うん〉みんなそれぞれの職場で〈うん〉、まあ、一生懸命やっている〈うん〉、頑張ってるってのが〈うん〉対称的なんですな。

T: なるほどね〈はい〉。

で、まあ、その、確かに経済成長をね〈はい〉、中国はしていますけども〈はい〉、最近、ちょっと、色々、こう、えー、例えば最近ではあの牛乳にメラニン〈あー〉って言うもの入れたりとか、…

I: はい、ありますねー。

T: 非常に不正が多いと思うんですけど〈ええ〉、それは、その点どう思いますか？。

I: 確かにすねー〈うん〉。

あの一、自分も中国人なんですけど〈うん〉、でー、じゅうごくじん[中国人]で違って言いますと〈うん〉、目先の利益を求めちゃうんですな〈うーん〉。

でー、まあ、よは[要は]、あの一、90、80年代後半にこう〈ふん〉、鄧小平〈はい〉、当時の国家主席さんが〈ふん〉、まあ、まず一部の人間が〈ふん〉まず豊かに〈ふん〉なって、貧しい人を引っ張ればいいと〈ふんふんふん〉。

で、確かそれはそれで成功〈ふんふん〉なんですけど、でーそれによってですね〈ふん〉、貧富の差がすごく〈ふん〉、あの一、できてしまって〈ふん〉。

でー、貧しい人〈ふん〉ってか、まー、経済、的に余裕がない人〈うん〉がとりあえず一生懸命〈うん〉、まあ、お金持ちになろうと〈うん〉。

で、それを、やっぱ、こう、うまくいく人と〈ふん〉うまくいかない人〈ふんふん〉、当然いるんですけど、…

T: そうですねー。

I: そういう、うまく、なかなかいかないと〈ふん〉と、にはどうしても〈ふん〉、あの一、まあ目先の利益を先に考えて〈ふん〉、で、とりあえずお金をもうけようと〈ふん〉。

で、まあ一長期的なこと〈ふんふん〉考えずに〈ふん〉、で、結果的に〈ふん〉利益を出すために、まず物を作って売ろうとか〈ふん〉、品質面っていうよりも、〈ふん〉まず売る〈ふん〉。

で利益を得る。

T: そうですねー。

I: ってことなんですな。

T: ただ、それをやったがために、中国のその、色んな、例えば特に、えー、食料品ですね〈はい〉、農産物のこう、信頼を失っていると思うんですけどね。

I: そうですねー。

T: その点についてはどう思いますか？。

I: いや、もう〈うん〉、もう、そういう人たち〈うん〉、まあ、全部が全部じゃない〈うんうん〉なんですけど、はずなんですな〈ええ〉。

で、ただ[ただ]、そういった〈うん〉、やっぱ、特に最近〈うん〉、そういった事件が多くて〈うん〉、まあ、餃子中毒事件も…

T: はい、ありましたね。

I: そうなんですけど、そういった食の安全〈うん〉、逆におもちゃとかも〈うん〉、一応まあ一部あるんですけども〈うん〉、その一、品質問題〈うん〉でけか[怪我]したりだとか、そういった部分がほんと〈うん〉、まー、今ものすごく問題に〈うん〉なってるでー。

で中国ってのはもともと経済ってのは輸出…

T: う…

I: に頼ってる〈はい〉、まあ、偏ってる〈ええ〉なん、…

T: そうですね。

I: まあ、経済ん性質〈うん〉、まあ、成長〈うん〉の仕方〈うん〉なんですけど、でー、そういうところが今のこのような、食の問題、食の安全の問題とか〈うん〉でー、いわゆる品質問題〈うん〉だから、もう、こ

K004

んだけ、おお、世界的規模〈うん〉で一、あの一、懸念されると〈うん〉、ものすごく、こう、中国の輸出〈うん〉に対して、もうほんとにマイナス〈うん〉、まあ、影響しかないんですけど〈うん〉、マイナス的な部分が〈うん〉、で一、それによって、落ち込んでる部分がある〈うん〉んですけど…

T: そうですねー。

I: 輸出が〈うん〉。

でほんと、自分が、ひと、一人の中国人〈うん〉として〈うん〉、ものすごく、心配している部分があるんですね。

T: むしろその、【I (姓・名)】さんはですね〈はい〉、その、えー、何、えー、中国の、えー、幹部ですね〈はい〉、その、例えばそういった食品関連の〈はい〉幹部として〈はい〉、そうした、もちろん経済成長も大切だけれども〈はい〉、そうした食の安全に対して、どう、啓蒙していく、そういう立場だったら、どういう風にしていきますか？。

I: そうすね〈うん〉。

で、まあ、そこに〈うん〉、根本的に、〈うん〉どこがだめなのか〈うん〉って僕個人的には〈うん〉、あの一、考えたんですけど〈ええ〉、そこはやっぱり教育のレベルが低い〈ほおー〉ってことなんですよ。んでー、…

T: 教育ですか。

I: そうですね。

僕は、確か一商流、商慣習って〈ふんふん〉いうか〈ふん〉、そういう部分で目先の利益を求める〈ふんふん〉ってことがあるんですけど〈ふん〉、まあ、根本的に、今の中国〈ふん〉その、教育レベルっていうか〈うん〉まあ、学校色んな、こう〈うん〉、日中戦争も〈ええ〉あったんですけど、で、内戦も…

T: はい、ありましたね。

I: ずっと続いてて、でその後、文化大革命〈ふんふん〉10年間あって。

T: ありましたね。

I: で、そういう時代を経験してきた〈ふん〉方々が〈ふん〉、まあ、まあ僕の世代〈ふん〉、今の世代に〈ふんふん〉ちゃんと高校中学校高校〈ふんふん〉大学〈ふんふん〉とか、こうやって、まあ、いわゆる高等教育〈ふんふんふん〉って言うか、まあ、受けてる人とは限らな〈ふんふんふん〉いんで、逆に教育受けていない人が〈ふん〉多いんですね〈ふんふんなるほどねー〉、今の〈ふんふん〉、えー、あの一、私の親父の世代〈ふんふん〉とかですね〈ふんふんふん〉。

そういう人たちが、き、企業とか…

T: あー、なるほど。

I: 経営してて、でやっぱそういう〈ふん〉、レベルの低さ〈ふん〉からまあ色んなね〈ふん〉、こう、やっちゃいけないことを〈ふんふんふん〉やってしまったりだとか、するので〈ふん〉、ま、当然、あの一、当面のことを〈ふんふん〉考えると、政策的には、そういう、まあ、まあ、いわゆる、せ、あの一、罰則というか、〈うんうんうん〉そういうのも許可しなきゃいけないんですけど。

T: そうですね。

I: まあ、長期的には〈うん〉、まず、教育〈うん〉をしっかりと〈ふんふん〉、やっちゃいけないよと〈ふん〉。

で、でなぜやっちゃいけないかっていうのを〈ふん〉教えていかなきゃいけない〈ふんふん〉し、それやると、こういう「しず」がへって、まあ落ち込んできて〈ふんふんふん〉、結局生産が〈うん〉、ものがつくっても売れない〈うん〉よと〈うん〉、そうすると、あの一、今の〈うん〉、とりあえず作って売るよりも〈うん〉いいものを作って〈うん〉、長期的に〈うんうんうん〉、その、工場もね〈ふんふん〉、会社も〈ふん〉うまく成長していけるし〈ふん〉、生き残って〈ふんふんふん〉、まあ、いけるっていうことを、やっぱ全国規模で〈ふん〉やるべきだなーと。

T: なるほどね。

I: はい。

思ってますけど。

T: まあ、ね、あの色々食品の問題もありますが〈はい〉、その、まあそれの前に、あの、なんていうんですかね、大気汚染とか環境問題とか〈あー、はい〉、非常に、あの一、えー、実際に、まあ、日本にはな、なかなか届かない部分があるんですが、情報として〈はい〉、かなりが、その、工場の周りの人が苦しんでいる、っていう風に聞いているんですけど…

K004

I : そうですねー。

T : そのことについてはどう思いますか？。

I : そうですね〈うん〉。

自分も、まあ、年は、一回くらいは〈うん〉、あの一、まあ、実家に〈うん〉帰ってるんすけど、まあ、やっぱ〈うんうん〉、色んな話は、友人とか〈うん〉親戚から聞いたりはします〈ふん〉けども、そこはやっぱ、その、先ほど、その、食の問題とか〈ふん〉、品質問題〈ふんふん〉と、同じ〈ふん〉考え方なんですね〈ふん〉。

んで一〈ふんふんふん〉、要は、その一、利益を最大に儲けるために〈うん〉投資を抑えるんですね〈ほお一〉。

例えば、あの一〈ふん〉、ほんとは〈ふん〉、この一、その一、まあ一なんて言うかつすね、汚染物って言うか〈ふんふんふんふん〉、を処理する機械〈ええ〉をこりゅう[購入]したりですね〈うん〉、そういった環境を作ったりだとか〈うん〉しなきゃいけない〈ふんふん〉んすけども、それやるのにお金がかかる〈ふんふんふん〉っていうのもあるんで〈うん〉、でそれをやらずに〈うん〉、その一、普通の、一般のきゃくを〈ふん〉、まあ一、川とかつすね〈ふん〉に流しちゃったり〈ふん〉、で、普通のごみとか〈ふん〉、あの一、廃棄物ちゃんとしたところに〈ふん〉出さなきゃいけないんすけども〈ふん〉、金がかかるんで〈ふんふん〉、もう山とかに〈うーん〉放り込んで〈うん〉適当に捨てちゃったりとか〈うん〉してるんですね。

そこは、もうあの一、同じことなんですね〈ふん〉。

さっきの〈ふん〉食問題とかですね〈ふん〉、はい。

T : このようなことをすると、あの一、周りの人々〈はい〉、住民とか、反対運動とか、国の〈はい〉、その一、国の、その、え一、政策としてはまずいと思うんですけど。

I : そうですね〈うん〉。

で一〈うん〉、おっしゃるととおり〈うん〉、まあ、ほんとに住民〈うん〉、まあ、その工場の近辺の〈うん〉方〈うん〉だっ、方つすね、やっぱりこう、当然不満がある〈ええ〉わけですから、で一、それに対して〈ふん〉当然色んなこのぶ、部門とかに〈うん〉、まあ、クレームを入れたり〈うん〉だとか、はしてますけど〈ふんふん〉。

で、実際、今、あの一、共産党〈ふんふん〉が、その国の、まあ、政経運営〈ふん〉してて、でそういった工場とか作ったり〈ふん〉、え一、まあ、会社を運営〈ふん〉してる方って言うのは〈うん〉、まあ、大体人脈を持つてる〈はい〉方が多い〈うん〉んですね。

T : そうですねー。

I : で一、一般の住民〈うん〉、いわゆる庶民が〈うん〉、その一、ね、政府に対して〈うん〉、この工場はどうのこうのとか〈うん〉言っても、そこの一脈〈うーん〉の裏〈うん〉では〈うん〉そういう話〈うん〉いっちゃったりして〈ふんふん〉、で一、逆に〈ふん〉、あの一、話だけ受けて〈ふん〉、まあ、何の、しょ、処置もしない〈うんうんうん〉っていうのも結構多いんですね。

T : そうですね。

まあ日本もね、官僚主義というね〈はい〉、部分で、その、官僚と、その、実際の経営者との癒着とか〈はい〉、まあ、その、え一、日本も色々、今、あの一、お米の問題…

I : あっ、そうですね。

T : 汚染米のね、今、問題起こってますが〈はい〉、それで、その一、あの一、お互いの、その、癒着を、こう、なんていうかな、はっきり告発するとか〈はい〉、そういったことを、そういった立場、例えば【I (姓・名)】さんがそういう立場〈はい〉、非常に、そういう立場に立ったとしたときに、どういう風にすれぱうまくいくと思いますか？。

その、そういったその癒着を切る、関係を切る…

I : まち〈うん〉、まあ、ここは〈うん〉、ほんと〈うん〉、長い歴史から、あの一、しますと〈うん〉、非常に難しいところ〈うーん〉ですね。

この、今、その近代化なった〈うん〉中国が〈うん〉こういう問題が起きた〈うん〉ではなくて〈うん〉、もうほんとに、大昔から〈はあ一〉、官僚主義〈うん〉というか〈うん〉、でそういう、いわゆる商売〈うん〉やっている人と〈うん〉、そういう官〈うん〉、政府〈うん〉との、うまく、こう〈うーん〉、関係を結んだり〈うん〉とか、っていうのは、ほんとに、この3、4000年〈はあ〉、歴史〈うん〉、まあ、ほんとに、もう、あれ、その〈うん〉、よく、その、そういった〈うん〉ドラマ〈うん〉とか〈うん〉、そういった、あの一、本とかですね〈うん〉、歴史の本とか〈うんうん〉、まあ、読んだり見たりとか〈うん〉するんすけど、

やっぱ昔からなんですね〈ふーん〉、この商慣習っていうのが。

逆に、中国で、あの一〈うん〉、ビジネスやるのにですね〈うん〉、一番重要なのが、人脈なんですね〈ふーん〉。

で、今もそうなんですけど〈うん〉、そこが、まあ、非常に難しい〈うん〉ところで〈うん〉、んで一、政府がどうのこうもよりも〈うん〉、やっぱ、中国〈うん〉の、その一、いわゆる〈うん〉一般的な市民〈うんうん〉っていうか〈うん〉、庶民、がそういった、あの一〈うん〉、意識をもってですね〈うん〉、で一、あの、ちゃんと声を出すと〈うん〉。

で、世論〈うん〉の力も、〈うん〉今、今以上に〈うん〉すね、あの一、増さなきゃいけないすね〈うん〉。

あの一、今のその、〈うん〉世論の監督力とか、ほ、まあ、ほとんど〈うん〉共産党が〈うん〉押さえ込んでるんで〈うん〉、そういったところがやっぱり良くないですね〈うーん〉。

そういうところを、ほんとに、あの一、大事にして〈うん〉いかないといけないですね。

T: なるほどね。

ちょっと話題が変わりますけども〈はい〉、先ほど、あの一、映画見るのがお好き、とおっしゃっていましたが〈はい〉、あの、DVD〈はい〉、ごらんになって、最近なんか見た映画で…

I: 最近見たんですね。

【タイトル】ですね。

T: 【タイトル】。

I: あの一、まだの一としよう[ロードショー]され、日本っての一としよう[ロードショー]されては、いるんですかね？

T: まだないかな。

I: まあ、実際〈うん〉映画館観にいてないんですけど〈うーん〉、で、まあ、あの一、インターネットで〈ふんふんふん〉そういったサイトがあって…

T: あー、そうなんだ。

I: ですね、そこからダウンロードして〈ふーん〉、で、パソコンで見ているんですけど。

T: あー、そうですか。

I: で、日本での一としよう[ロードショー]される前の…

T: 見られるんですね。

I: あの一、はい、ダウンロードしちゃったりは〈うーん〉してるんですけど。

ほんとは、い、いけないこと…

T: あー、そうなんですかー。

I: かも知れないんですけど {笑}。

T: どんなそのストーリーなんですか？。

ちょっと面白そうなんですけど。

I: まあ、それ、やっぱこう、個人的、あの一、個人的にはすね〈うん〉、アクション映画が好き〈ふーん〉なんですね。

あの一、ストーリー性〈うん〉よりも〈うん〉、そういったアクションシーンが〈ふーん〉好きなんですね。

で、まあ、ほんとあれ、ああいうのもその、ちょっと近、近未来的な〈ふーん〉話で〈ふんふん〉、まあ、そ、その、ほんとに、まあその、部分部分のシーンを見て〈うんうんうん〉、まあ、感動したりはするんですけども。

T: その、どこが、印象的なとことかちょっと説明してもらえますか？。

I: はい。

で、印象的なところはやっぱり、その、あの一、この普通に銃〈うん〉まあ、で弾撃つんじゃない〈うん〉すか。

で、銃って絶対直線に行くんじゃないすか〈はい〉、弾が〈ええ〉。

で、それが、円になるんですよね〈ほお一〉。

撃って〈うん〉、まあ、撃ち方によって〈うんうん〉ですね、その、弾がこうぐるっと回ってくると〈へえ一〉。

いわゆる、その {笑}、今までの常識を〈ふーん〉覆す〈ふーん〉ような形。

おれは凄い衝撃〈ふーん〉、衝撃でしたね。

今まで見た、まあ、映画の中で〈うん〉、そういった〈うん〉のがないんですね〈ふーん〉。

ま、今回初めて〈ほお〉弾が曲がるんだ {笑}。

K004

T: そうですね。

I: まあ、ありえない話なんですけど。

T: なるほど。

I: はい、それは凄い印象的ですね。

T: ふーん、なるほどね。

あの、まあ、映画での、エンターテインメントのアクション映画ってのは〈はい〉部分ありますが、ただ、子供が見た場合に〈はい〉、ちょっと暴力シーンとかあったときにね、…

I: あー、そうすねー。

T: あのー、ちょっと、その、えー、子供の成長〈はい〉、教育上〈はい〉問題が起こると思うんですが〈はい〉、あのー、【I (姓・名)】さんは、そのことについて、あのー、どこまでを暴力で、どこまでがそうじゃない、…

I: まあ、…

T: とそういった部分の区分はありますか？。

I: そうですね〈うん〉。

でー、やっぱ、そのー、まあ、日本、日本での一どしよ[ロードショー]する〈うん〉とか、その、DVD出すとか〈ええ〉時も〈うん〉、その、専門的な機関で〈うんうん〉、その、R18とか〈うん〉、そういったのは区分つけて〈うんうんうん〉、まあ、その、ね、あのー、映画館とか〈ええ〉、まあ、その、DVDレン、【会社名】みたいな〈ええええ〉ところで、そういうのがね、あのー管理されてると〈ええ〉思うんですけどー、まあ、その、基準が非常に難しいん〈うん〉ですね。

で、そこを全部、例えばそのかと[カット]すると〈ええ〉、もうほんとに面白く〈うん〉なら〈うん〉ないわけですね。

T: そうですね。

I: そういった映画見ると、〈うん〉とは言っても、あのー、〈うん〉先ほどおっしゃったようにですね〈うん〉、子供とか見ちゃうと〈うん〉、まあ、極端な話まねして〈うん〉、あのー、自分と仲が〈うん〉悪い人〈うん〉に対してそういした〈うん〉同じ事を〈うん〉やったりとか、まあ実際に起きたりとかは、してるんですけども〈ええ〉。

で、そういう部分が、そのー、あのー、映画で、まあ、その、編集とかカットとかで〈ええ〉抑えるよりも〈うん〉、まあ、やっぱ、あのー、子供に対する教育だと思うんですね〈うん〉。

まあ、教育する側は〈うんうん〉、まあ、学校だったり〈うん〉、大体その親〈うん〉だったりですね〈ふんふん〉。

こういう映画は見ちゃいけないよ〈うん〉とか、こういったシーンを見て、見てもいいんだけど〈うん〉、それは、映画だから〈うん〉真似しないでね〈うんうん〉とか、そういう風な〈うん〉、あのー、やるべきだと思う〈うん〉んですね。

T: 例えば、その、具体的に、その、そういった、あのー、えー、教育に〈ふん〉携わる立場だとして〈はい〉、そういった、その、映画について〈はい〉、あのー、どこまで見せていいか、見せて〈はい〉よくないかっていう立場で、そのー、そういう教える立場だったとしたら〈はい〉、どこでこう、そのうまく分けますか？。

その〈うん〉、それをどう指導しますか、先生方に？。

I: そうですね。

非常に難しいと思う〈うん〉んですけど〈うん〉、まあ、その、やっぱ、まあ、あのー〈うん〉、実際の映画のシーン〈うんうん〉を出しながら〈うんうん〉ですね、こういうシーンが、〈うん〉だめですよだとか〈うんうん〉、やっぱ言葉だけ〈うん〉、だけですと〈うん〉効果的ではない〈うん〉んで、そういう、画像〈うん〉って言うか、を使いながら〈うん〉で、まあ、その、先、教育家〈うん〉、教育家の先生たちが〈ふんふん〉、まあ、これは、まあそのストーリー的にはこうなんだけど〈ふん〉、実際、現実的〈ふん〉、まあ、非現実的〈ふん〉****とか〈ふん〉でー、やっぱ、あのー、いくら、その、けんかしても〈うん〉、人を殺すことってというのはだめですよと。

T: そうですねー。

I: それがまず〈うん〉、人、命が失ったら〈うん〉、その、ほんとに〈うん〉何にもならないし〈うん〉、何も残らないんで〈うん〉、まず人を殺す行為〈うん〉は〈うん〉絶対的だめですよっていうのを〈うん〉、まずそこからー〈うん〉、あの、教育したほうがいいと思うんですね、はい。

T: はい、分かりました。

K004

で、あの一、ちょっと話題変わりますが〈はい〉、えっと、【I (姓・名)】さんは大学も日本で…

I : そうです、はい。

T : すね。

えー、そのときサークルとか何か入ってました？。

I : あの一〈うん〉、ま、僕入った大学〈うん〉って、その、まあ、非常ににゆうがくせい[留学生]〈うん〉、が多かったんですね〈ふーん〉。

それで、まあ4、僕、まあ僕が入ったとき100人以上はいました…

T : あー、そうですかー。

I : ですね〈ふーん〉。

一つの学部でにゆうがくせい [留学生] だけで〈ふーん〉。

であと、実家いますと、あの一、留学生同士が〈ふーん〉かたまっちゃったり…

T : あー、そうなんですねー。

I : とかします。

T : なるほどね。

I : んで、…

T : 分かりました。

I : どうしても、…

T : はい。

じゃあですね、いま映画が好きとおっしゃったので〈はい〉、例えばもし、その、大学で〈はい〉、映画同好会のこう、サークルがあったら〈あー〉入ってたと思いますね〈はい〉。

文化祭とかでとても有名な〈はい〉、その、映画評論家を、こう招いて〈はい〉、講演をしてもらうとか、そういうの企画とか、〈あー〉多分行なったら…

I : あー、それはあったらいいんですけど。

T : ですよ。

I : はい。

で…

T : なるほどね。で、これからロールプレイをね〈あつ、はい〉、したいと思うんですけど、その【I (姓・名)】さんはそういったその映画同好会〈はい〉サークルに入って〈はい〉いて、今、あの、副部長〈{笑} はい〉ですね、副部長〈はい〉。

それで、わたくしは【T】と言いますけど〈はい〉、わたしがその映画評論家で、とても有名で〈はい〉えらい、とてもえらいですね〈はい〉。

その人に、あの、アポイントをとったので〈はい〉、あの一、実際にその、お宅に〈はい〉行って、あの、えー、文化祭が例えば、まあ、ら、来週〈はい〉あるとしますね〈はい〉。

あの、えー、来週の土曜日にあるとします〈はい〉。

お願いをしてみてください。丁寧に。

I : あつ、なるほどですね〈はい〉。

アポをとるための。

T : そう、アポをとるということですね。

I : ですね。

T : それではあのノックして入るところからでいいです。

あの、電話で、あの、今日会うことは約束していて。

I : あつ、そうですか {笑}。

ちょっと難しいですね。

はい、ちょっと、やってみます、はい。

T : {ノック音} どうぞ。

I : こんにちはー。

T : あつ、こんにちはー。

I : あつ、どうも初めまして〈うん〉。

えー、大学名っていたほうがいいですか？

T : あつ、いいですよ、いいですよ。

K004

- I : えー, 【大学名】経済学部の, 【I (姓・名)】と申しますー。
- T : 【I (姓・名)】さん。
- I : あっ, 先日お電話で, あの, わし [私] どもの, えー, 経済学部の〈うん〉文化祭に〈うん〉, ご出席いただきたく, お電話した件で, おじゃましますけど。
- T : あー, はいはい, 【I】さんね, はい〈はい〉, ね。
今日いらっしゃると聞いてました, うん。
- I : すんません。
えーと, 今お時間大丈夫ですか？。
- T : あっ, もちろん, もちろん, どうぞ, うん。
- I : えー, 実はですねー〈ええ〉, あのー, まあ, あの, 私もっすねー〈うん〉, 映画見るのが大好きでー〈うん〉, でー, 同じにゆうがくせい[留学生]の中ですね〈ええ〉, 何人か仲間がいて〈ええ〉, で, そういったあのー, まあサークルって言うのを〈うんうんうん〉, まあ, 作ってまして〈ええ, ええ〉, で, 私が〈うん〉副部長を勤めさせて…
- T : あー, そうですか。
- I : もらってます。
してですね〈ふんふん〉, で, 次回, まあ来週〈ええ〉, えー, わし[私]どもの学部, 学部で〈ふんふん〉おこられる[行われる]文化祭なんですけど〈ふんふん〉, そこで, その, あの, 今, 中国の〈うん〉, えー, 話題の映画ですね〈うんうん〉, あのー, 是非, 日本人〈うんうん〉の同級生たち〈うんうん〉に見てもらいたいなと〈うんうん〉。
で, それに対して, そ, あのー, 【T】さんに〈うん〉, まあ, ご参加いただいて〈ふんふん〉, でー, それに対してね〈ふん〉, あのー, コメントをいただきたい〈ふん〉など。
- T : なるほど〈はい〉。
でー, 私が, その, 最近の映画の評論でよろしいですかね？。
- I : そうです, はい。
- T : 分かりました。
では来週ですね。
たまたまあいてますので。
- I : あー, そうですかー。
- T : うん。
で, 午前と午後どちらがよろしいですか？。
- I : あっ, できれば午後, のほうが, お願いしたいと思うんですけど。
- T : 午後ですね, わかりました。
では午後の, そうですね, 何時がよろしいですか？。
2時とか3時とか。
- I : 午後2, えーと, ご都合が。
- T : あっ, 2時, 3時大丈夫です。
- I : あっ, そうですか。
えー, あ, えー, そうでしたらですね〈うん〉, 二時からでお願いできませんか？。
- T : 分かりました。
はい。
ではあの, 【大学名】ですよ？。
- I : はい, そうです。
- T : あのー, えーっと, あそこはどこでしたっけ？。
- I : えっと, 総武線の【地名3】, ですね。
- T : 【地名3】ですね〈はい〉。
でー, そこに, そうですね, 1時半ごろ, 参りますから〈あっ, はい〉。
そのー, あれは西口ですか北口ですか？。
- I : あっ, あのー, 西口…
- T : 西口。
- I : の改札口〈あっ, ああ〉, 出ていただいてですね〈はい〉, あのー, 私が, そのー, …

K004

- T: あっ、そこで。
I: 改札口でお待ちしておりますので。
T: あっいらっしゃるのね。
そうして、そうしましょう。
I: あっ、はい。
で、あの一、学、その一、席までですね〈うん〉、ご案内いたしますので。
T: 分かりました。
I: すいません。
是非よろしく願いします一。
T: わかりました。
あっ、もちろんですね。
よろしく願いします一。
はい、ではこれでひとつロールプレイを終わり〈あっ、はい〉まして、で、実は部長も〈はい〉いきたか
つただけけれども、〈あっ〉とても親しいんですね、部長ね。
I: あっ、そうですか。
T: あの一、どうしても行けない用事があるって〈はい〉、心配で電話をかけてきています。
I: はい、そのサークルの部長ですね？。
T: はい、そうですね〈はい〉。
とても親しいです〈はい〉。
いつもお酒飲んで〈はい〉ね。
で、あの一、田中タカシといいます。
I: 田中さん。
T: タカシでいいです。
I: あっタカ、タカ、タカシさん、さん？。
T: 【I (姓・名)】でいいですか、【I (姓・名)】さん？。
I: あっ、あっ、そういう、あれですよ。
T: そうそう〈はい〉、そういう〈はい〉あれですね〈はい〉、はい。
そろそろ電話かけてきますね、部長が。
心配でどうなったか。
もしもし。
I: はい、はい。
T: 【I (姓・名)】？。
I: あっ【I (姓・名)】だ…
T: あっ【I (姓)】、【I (姓・名)】ね。
あっ、ちょっとね、心配で電話したんだけど、もうあの、映画の先生のところ〈あーあーあー〉、アポと、
どうだ？。
行ってきた？。
I: あっ、あの件？。
T: うん。
I: 今ね、おわ、ちょうどお願いしてきた、ところ〈あっ、そう〉。
終わったところで、…
T: あっ、そうなんだ。
I: ええ。
T: あー、そっかそっかー。
I: なんとかですね、来てくれ、あの一、くれるんだって。
T: あっ、来てくれるんだって？。
I: はい。
T: よかったよかった一。
すごいね、あの人結構ね、あの、難しい人だと聞いたんだけどどうだった？。
I: 僕も会うまえにすね〈うん〉、ちょっとドキドキして〈うん〉、これ、来れなかったらどうしようって悩ん

K004

でたけどー〈うん〉、あの一、実際会うとですねー〈うん〉、すごい優しい方で。

T: あー、そうなんだ。

I: もう、あっさり、あの一、オッケーしてくれたんすよ。

T: あー、そう、そうなんだー。

よかった、よかつ、じゃあさー、よくがんばったから、これからちょっと、飲み行かない？

I: えっ、まじっ？

T: まじ。

大丈夫大丈夫。

今日お礼に、俺行けなかったから、おごるよおごるよ。

I: あっ、じゃあ、あの、【店舗名】でいい？

T: 【店舗名】でいい、じよじよ、いいよいいよ、【店舗名】で、うん。

いっぱい焼肉食べようよ。

I: {笑} 分かった。

で、じゃあ何時にどこ？

T: 6時からどう？

I: 6時〈うん〉。

これからだと間に合う…

T: 間に合うね。

I: 間に合うんで、ど、どの辺にする？

T: じゃあさ、あ、あの、えひ、駅の、あの西口にしようよ。

I: 了解、了解〈うん〉。

じゃあ〈うん〉、そこ、多分ね、ちょっと、ちょっと早く着くかと思うんだけど〈うん〉、まあ、そこで適当にぶらぶらするから〈うん〉、着いたらまた電話ちょうだい。

T: 分かった、分かった。

じゃあ、そうするね。

I: はい、よろしくー。

T: はい、じゃあねー。

はい。

えー、実際に〈はい〉ね、こういった、あの一、何か、その大学のと時とかで〈はい〉、その一、先生に、こう、お願いしたりとか、アポ、その講演会とか、そういうのありました？

I: そうなのは、まあなかった…

T: あー、そうですかー。

I: んすけど〈うん〉、で、今、その、実際、会社入って〈うんうん〉、でー、まあ、あの営業っていう〈うんうん〉立場なんで〈うん〉、で、いれば色んなお客さんにですねー〈うん〉、その一、まあ、物流業なんですけど〈うん〉、物流〈うんうん〉。

その、そういった、展示会とか〈うんうん〉あったりして、それをし、まあ、あの、参加〈ふーん〉していただけませんか〈んー〉とか、そういのはやっていますけどね。

T: あー、そうですかー〈はい〉。

わかりました。

じゃあ、これからどうしま、これであのインタビュー終わりますけども。

I: あっ、そうですか。

T: うん。

これからはどうなさるんですか？

I: これからは〈うんうん〉、そうですね、今日、日曜日〈うんうんうん〉なんですねー、あの一、うちの奥さんが〈うんうん〉、キリスト教会…

T: あー、そうですねー。

I: 最近ですね、毎週日曜日通って…

T: あー、そうなんですねー。

I: いますんで、まあ、今日も、あの、これから空いてますんで〈あー〉、あの一、家族サービスって、…

T: あっ、なるほど。

K004

I : ていうか, …

T : あっ, そうですか。

I : あの, 自分のためにもですね, ちょっと, き, 教会に〈うんうん〉, あの, 行こうかなと, 思ってます。

T : はい〈はい〉, 分かりました。

あっ, 今日はどうもありがとうございました。

I : あっ, いえいえこちらこそ。

T : これでインタビュー終わります。

I : あっはい, 失礼しますー。